Mランドニュース Vol. 169

丹波ささ山校 令和3年5月1日発行

発 行 ㈱篠山自動車教習所

〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569

TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940

発行責任者 井 本

https://www.sasayama-ds.com/

いかたちでの入社式が執り

思考ができていなかったこと

人のための行動や、プラス

式が始まると、これまでにな

司

会者の進行により

入社

いることに誇りを感じます。

心もそろうでしょう

世界中の人も

!」と思えば、大きな石に

「よし、上手く杭が

行われました。

入社式を終えた二人は、

E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

人間が謙虚になるための、 手近な、そして着実な道は、 まず紙屑を拾うことから。

森 信三先生

弊社、コガワグループ三社

あたらしい仲間

ワグループ入社式」が四月六 日(火)、オンライン形式で行 合同の「二〇二一年度、コガ われました。

クターと、サービスチームの たのは、江本崇人インストラ かった二人にとって、緊張は 笹倉唯奈です。 社員と対面する機会がな 丹波ささ山校から参加 コロナ禍で、グループ会社

かくせないようでした。



大きく貢献してくれること

していたポールやロープは、

研修で抱いた熱い志を胸に、

これ

まで目印として設置

慣れない作業で疲

弊û して

は、 ました。現状維持のままで を よう努力していきます。 を願うとともに、小さなこと 舞い、世の中がよくなること 世のため人のために立ち振る ならない。一人の人間として 積み重ね、自身の糧となる 起こせばよいのか再認識し 会社にも自身のためにも

おなじ目的を志す新入社員同士の顔合わせ

笹倉さん

とても感動しました。 ドに詰まっていることを知 今ここで私自身が働けて 創業者の想いがこのMラン

まが幸せになれるように、 拶と感謝の気持ちをお伝え カしてまいります。 気付かされ、心に届く挨 少しでも多くのお客さ

があったようです。

前

方や捉え方に、大きく影 これまでの自分自身の考え

> 人としてどのような行 動

> > 営業チーム

上ま 出で

健

を利用して新たに整備しま

した。

所も出てきたため、

、環境月

動車を揃えにくくなる場 間とともに劣化しはじめ

心をそろえる

脚下照顧」。この言葉

江本インストラクター

有名な詩があります。 「はきものをそろえる」という 藤本幸邦氏がつくられた、 して、長野県円福寺住 誰もができる教えのひとつと

はきものをそろえる

はきものをそろえると

ぬぐときにそろえておくと 心がそろうと おいてあげよう たまってそろえて はくときに心がみだれない はきものもそろう そうすればきっと たれかがみだしておいたら

この詩に習い、ホームの上れ き、傘立て、 も揃えて停めよう」と、 ます。そのひとつ「社員の車 から取り組んできました。 揃えることを意識してい 椅子など美 五 履は

「どう、ズレてない?」と、南勝リーダ・ -(左)

度やり直-が、何分素人ですので、杭や とロープを設置していきます できるよう、寸分違わず杭 ープにズレが生じ、その都 誰もが一回で美しく駐車

南勝宏幸リー 微妙にズレている箇所が。 静かに端からよく見ると まれるなど初夏の陽気の しばらく二人の沈黙が続 終了後、杭とロープの確 悪戦苦闘しました。 「やり直し! ダーの 一声。 認

きれいに揃うと我ながら「お~!」と、感激です

ら社員全員で心を揃え、 所です。そんな駐車場 駐

ストに向き合ってまいります。

車場は、一日が始まる

と思いつつ、言われるがまま いた私は「これくらいなら…」 れが、停める人へのズレを 作業に戻りました。 ねないと、自分の甘さを反 じさせる雰囲気に繋がり しました。 今になって思えば少しの

【掃除に学ぶ会】のご案内

5月の掃除に学ぶ会は、 「緊急事態宣言」のため 中止とさせていただきます。

ワンハート・ワンワールド

石橋

が問われます。

教習のゲストも増え、コース内 かけることも多くなりました。 者が増加し、ツーリングを見 を二輪車が颯爽と走り抜け Mランドも四月から二輪 全国的に二輪免許の取得 ルド」を唱和しています。 ゲストと「ワンハート・ワンワー



乗り物であるものの、体が露 二輪車は楽しく、格好良い

安全運転は基本操作から

世界一下海

さるごまな座を越て、

私は

私は バイクを愛します

自然を愛します

私は 人を愛します

も否めません。

こせば身体に負傷を負うこと 出しているゆえに、事故を起

地球を愛します

も、速く走ることや、注目さ

また、安全に走ることより

楽しい乗り物であるから、周 るライダーを目指していただ 囲の人や車、環境と調和でき 感じ、自然との一体感を生む すなわち、二輪車は風を

及ぼすケースも少なくありま ろん、周囲の人や車に危険を なり、その結果、本人はもち れる走りに関心が向きがちに

> であるため、運転する者の「心」 二輪車はこういった乗り物 です。 きたいという、Mランドの願い



全員で心を込めて唱和しています

ワンワールド」を心に刻み、安 業されたゲストが「ワンハート・ ただくことを願います。 全にバイクライフを楽しんでい バイクシーズン真っ只中、 卒

アサラニとのできない

私は風となる。

自然が一でない

そうじの力

組んでいます。 うじのカ」を始めてから八年 を迎え、地道にコツコツと取り 毎朝十分の会社磨き。「そ

状況や成果を共有し、違う 行いました。 し合い、解決策などの討議を 目線での指摘や、問題点を話 研修で、それぞれの班の活動 四月は五つの班のリーダー

こと。「これからも切磋琢磨、 みを始めたのかを明確にする 各リーダーが率先して、 たちが何のためにこの取り組 忘れてはならないのは、私 取り

> にしました。 組んでいこう」と、想いを新た



杜のコースに

が咲き誇っています。 も落葉樹に新芽や、季節の花 ゆき、入れ替わるように鮮や かな緑の葉が芽吹いています。 た桜の花は、風とともに散り 時同じく弊社教習コースに 私たちの目を和ませてくれ

ことのできない大切な花です。 長が、益田校から移植された 年五月に、故小河二郎前会 に益田校の姉妹校となった翌 やかな花がつつじです。 もので、私たちにとって忘れる 当時、前小河会長は「杜の この花は、平成十七年五月 今、一段と目を引く色鮮

た今、大きく成長してきまし

お話されていました。 所であるべき」と、折に触れて 前会長は「杜に囲まれた教習 樹木をこよなく愛された

所」に近づきたいと思います。 創業者の目指す「自動車教習 になって十六年。これからも 五月二十七日で、Mランド



花の命のエネルギ

お 便

の受講者がお越しになります。 きましたのでご紹介します。 から嬉しいおはがきをいただ ばならない「高齢者講習」。 更新する際に受講しなけ 受講後、お一人の女性の方 平日の午前・午後には多く 七十歳以上で運転免許を n

などを植樹され、十五年経っ 更新でお世話になりました。 「篠山自動車教習所の皆様」 先日、高齢者の運転免許

プラ、ナンキンハゼ、ハナミズキ 中の教習所を創ろう」と、ポ

> ありがとうございました。 負いながら指導していただき る中で、ご自分のリスクを背 コロナ感染症が拡大してい 一人一人細かい気配りと

コースの運転をすることが出 来ました。 Mランド「こころの教習所」

ださり安心して講習を受け、

励ましの誉め言葉をかけてく

という意味が込められている 努力をしておられると感じま そうですが、それを実践する

の人を優先し安全運転を心 がけていきたいと思います。 教えていただいたように

後 記

ちの健やかな成長を願わずに けました。コロナ前は当たり い走りまわる園児たちを見か おれませんでした。 しさがこみ上がり、子どもた 前の風景でしたが、なぜか嬉 無邪気な笑い声と、園庭いっぱ 園の前を通りかかったっとき、 四 月のある日、とある保